

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習活動及び教育活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 5年 5月 2日

学校名 福井市豊小学校

校長氏名 宇野 泰裕

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 豊地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 学校での節電、節水に努めます。
- ③ 地域と連携して、資源回収等、リサイクル活動に努めます。

2 取組内容

① 総合的な学習の時間における環境学習

5学年を中心に、豊地区を流れる狐川の環境を調査し、現状や問題を考えることを通して、豊地区の環境をより良くしていく方法を考え、町作りのアイデアや心構えがもてるようにしていきます。またそれらを下学年に伝えたり、地域へ発信したりしていきます。

② 節電・節水の取り組み

SDGs 委員会の活動として、校舎内の見回りを行い、節電、節水の状況調査や各教室の反古紙回収を行い、結果や気づきを知らせることで、校内に節電、節水を呼びかけていきます。




③ 地域と連携しての分別回収、清掃活動

新聞・雑誌等古紙の回収と毎月1回アルミ缶回収を、豊教育振興会や地域と連携し行います。また夏季休業中には学校清掃を実施します。学校の取組は、SDGs 委員会が中心になり、行います。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

③の資源回収、毎月1回のアルミ缶回収、学校清掃活動を通じて、自分の仕事に責任をもち、地域の様々な人との関わりや協力を大切にしながら、主体的に取り組もうとする態度を養う(⑥つながりを尊重する態度・⑦進んで参加する態度)。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <p style="text-align: center;">豊小学校</p>	
<p>1 今年度の目標 (学校の約束)</p> <p>①豊地区の環境、地球環境について学習します。</p> <p>②学校での節電、節水に努めます。</p> <p>③地域と連携して、資源回収等、リサイクル活動に努めます。</p>	
<p>2 取組内容</p> <p>④ 総合的な学習の時間における環境学習</p> <p>5学年が、豊地区を流れる狐川の環境を調査し、現状や問題を考えることを通して、豊地区の環境をより良くしていく方法を考えた。今後は下級生に伝えたり、地域の人たちに発信したりしていく予定である。</p> <p>⑤ 節電・節水の取組</p> <p>SDGs 委員会の活動として、校舎内の見回りを行い、校内に節電、節水を呼びかけた。</p> <p>③ 地域と連携しての分別回収、清掃活動</p> <p>新聞・雑誌等古紙の回収を豊教育振興会 (PTA) や地域と連携して実施した。また、毎月1回アルミ缶回収を行った。5月には、3年生が地域の老人会の方々と一緒に、校庭横の八幡山の草刈りボランティアを行った。9月には、親子での学校清掃を実施した。学校の取組としては、SDGs 委員会が中心になり、毎週1回各教室の古紙回収を行った。</p>	 
<p>★ ESDポイント (取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。)</p> <p>①の環境学習を通じて、自分たちの身近な環境や自然に関心をもち、未来を見据えながら自分たちが今後どのように行動しなければいけないのかを考え、主体的に取り組もうとする態度を養う (⑥つながりを尊重する態度・⑦進んで参加する態度)。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl;">3 見直し</p>	<p>【具体的効果】</p> <p>①総合的な学習の時間を使った環境学習</p> <p>5学年の狐川の環境調査では、予想より多くの種類の生き物に会えたことで更に親しみをもった。また、水質調査を行い、生き物が多いところでは水はきれいだが、住宅地では水が濁っているということがわかった。自分たちが思っている以上に川が汚れていて、ごみがたくさんあるという事実を知り、大切な川をもっときれいにしていかなければならないという思いを強くするなど、環境保全の意識が高まった。</p> <p>②委員会の取組</p> <p>SDGs 委員会では、各教室の古紙を回収し、資源として役立てようと、回収ボック</p>

スを作成して各学級に配付し活用を促した。また、校舎内の見回りを行い、節電、節水を呼びかけた。

③地域と連携しての分別回収、清掃活動

アルミ缶回収は、児童玄関を密にしない配慮のためもあり、例年のような登校時の回収はできなかったが、豊教育振興会を中心に月1回行った。3年生の草刈りボランティアでは、地域の方々と一緒に活動し、八幡山の自然を身近に感じ、大切にしようという意識を高めることができた。9月には学校清掃を開催し、多数の親子が参加した。

【改善点】

SDGs委員会を中心に環境保全に関わる活動を行ったこともあり、学校全体としてもSDGsを意識することができた。今年度は親子での学校清掃を実施することができ、多数の児童が参加していた。子どもたちが地域の人たちと一緒に活動することで、環境を守る意義や環境を守ることの重要性を実感することができた。

今後はSDGs委員会を中心に、環境に関する取組を積極的に行うとともに、学校全体として環境を守る意義や、その重要性について考えさせるような授業作りや活動をしていきたい。